
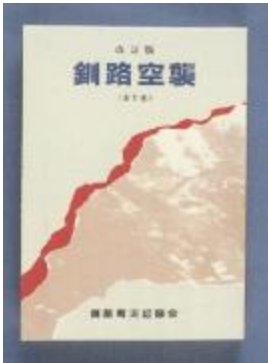

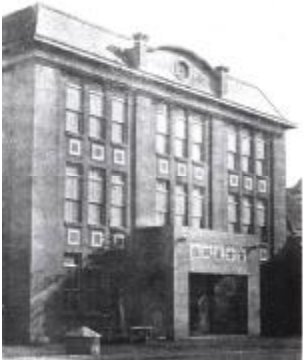




## 昭和20年(1945)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		13 三河地震(M6.8)、死者 <b>2,306</b> 名
3		9 ・10東京大空襲、 <b>23</b> 万戸焼失・死傷 <b>12</b> 万人 18 閣議、中等学校等 <b>4</b> 月より授業停止決定
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>市立図書館が貴重書の疎開準備を行なう。</li> <li>妙法寺の寺号公称が許可される。</li> </ul>	7 独、連合国に無条件降伏
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内で建物疎開(防火帯を設ける為の強制撤去)が始まる。</li> </ul>	23 沖縄戦終結、戦死 <b>9</b> 万人・一般死者 <b>10</b> 万人
7	<p>14 ・15の両日、米軍艦載機延<b>141</b>機が<b>8</b>波に渡り釧路地方を空襲。通信運輸施設・造船所・製紙工場等に甚大な被害を受け、釧路市(当時鳥取町含む)で死者<b>193</b>人・負傷者<b>273</b>人・損失家屋<b>1,375</b>戸、音別村で死者<b>9</b>人・負傷<b>7</b>人・家損<b>7</b>戸、阿寒村で死者<b>5</b>人・負傷<b>8</b>人。その外、沿岸漁船での死者・行方不明<b>28</b>人・負傷<b>8</b>人。</p>  <p>【空襲で爆破された釧路工機部の旋盤工場】</p>  <p>【『改訂版 釧路空襲』】 本書は同時代人の証言や公文書外の史料を詳細に編集したた労作である。 (釧路戦災記録会編、1989年7月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道青果物配給公社釧路支店が設置される。</li> </ul>	17 ポツダム会談(26日ポツダム宣言発表)
8	1 釧路埼燈台に釧路埼無線方位信号所が併置される。	6 広島に原爆投下 9 長崎に原爆投下 14 御前会議、ポツダム宣言受諾・無条件降伏決定(15日、玉音放送)
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>保坑となっていた太平洋・雄別・庶路の<b>3</b>炭砒が、配転されていた坑夫達の帰山により生産を再開し始める。</li> </ul>	1 ソ連軍、全千島占領を完了 11 GHQ、戦争犯罪人逮捕を命令 27 漁船操業許可海域(マッカーサーライン)設定

<p>10 7 進駐軍が釧路入りし、南大通の富士屋旅館を接収して宿舍とする。</p>  <p>【GHQ先遣隊、釧路へ進駐】 進駐軍は10月4日に函館へ上陸し、7日にトラックで釧路へ入った。本隊は24日に釧路入りし、約100名が2ヶ月程駐留した。</p> <p>19 国鉄釧路工機部従業員組合が結成される。(全国初の国鉄労組)</p>	<p>10 国内政治犯約2,500人出獄</p> <p>15 治安維持法廃止</p> <p>26 閣議、石炭生産緊急対策(賃上げ・食料増配等)決定</p> <p>30 進駐軍の道内兵力21,630人、全道で235ヶ所を接収</p>  <p>【進駐軍が接収した富士屋旅館】 将校・下士官の宿舍となり、一般兵士は男子国民学校を宿舍にした。</p>
<p>11 1 釧路財務事務所が設置される。</p> <p>3 GHQの命令による武器・弾薬の海中投棄作業中、艇(ハシケ)が転覆して市民4人が死亡する。</p>  <p>【事故を伝える新聞記事】 昭和36年になってやっと、4人の遺族に「占領軍関係人身被害見舞金」が国から支給された。</p> <p>25 春採炭鑛労働組合が結成される。(翌年、太平洋炭鉱労組に改組)</p> <p>・ 進駐軍と釧路中学校教師の交歓バスケット試合が実施される。</p> <p>・ 市の奉仕活動要請(水道復旧等)に、市民から抗議の声が上がる。</p>	<p>6 GHQ、財閥解体を指令</p> <p>・ 閣議、緊急開拓事業実施要項決定(5ヶ年に府県85万・北海道70万町歩開墾・入植)</p> <p>・ 社会党・自由党・進歩党、相次いで結成</p>
<p>12 1 北部復員監部釧路地方世話部が設置される。</p> <p>6 雄別炭鑛労働組合が結成される。</p> <p>10 ハルピンで釧路開拓団が解散を決定する。</p> <p>23 日本基督教会を会場に釧路地方労働組合連合会が結成される。</p> <p>24 釧路市戦災復興区区域画整理計画が決定される。</p>	<p>8 庶路炭鑛労働組合結成</p> <p>15 GHQ、国家神道と政府を分離する覚書</p> <p>22 労働組合法公布</p> <p>29 農地調整法改正公布(第一次農地改革)</p>
<p>(この年)</p> <p>・ 終戦で、徴用されていた底曳漁船の操業が再開されるが、釧路の水揚は昭和17年(994万貫)の1/7の140万貫にとどまる。</p> <p>・ 教科書の軍国主義・国家主義的な記述が「スミ塗り」される。</p>	<p>(この年)</p> <p>・ 道内の結核死亡者、年間10,075人</p> <p>・ 卸売物価指数350.3、東京小売同308.4</p> <p>・ 全国の労組509(380,677人)、労働争議95件(35,647人)</p>



## 昭和21年(1946)


月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>8 旧博済病院が釧路赤十字病院となり、診療を始める。</p> <p>19 尺別炭鉱労働組合が結成される。</p> <p>20 日本社会党釧路支部が結成される。</p>	<p>1 天皇「人間宣言」、神格化否定詔書発布</p> <p>4 GHQ、軍国主義者の公職追放指令</p> <p>20 北海道労働組合連盟結成</p>
2	<p>23 鳥取町農民組合が結成される。</p> <p>28 三ツ輪運輸・釧路港運職員労働組合が結成される。</p> <p>.. 総合文芸誌『北東文化』が創刊される。</p>	<p>5 北海道農民組合連盟結成</p> <p>17 金融緊急措置令(新円切替)、食料・隠匿物資等緊急措置令各公布</p> <p>24 静内で北海道アイヌ協会設立</p>
3	<p>16 釧路市農民組合が結成される。</p> <p>17 王子製紙釧路工場労働組合が結成される。</p> <p>17 北教組釧路国教員組合が結成される。</p> <p>28 鳥取町の宗仙寺が寺号公称を許可される。</p> <p>.. 北海道配電(株)釧路支店労働組合が結成される。</p>	<p>1 北海道地方労働委員会設置</p> <p>3 物価統制令公布(3.3物価体系)</p> <p>5 米国教育使節団来日(4.7六三制等教育の民主化を勧告)</p>
4	<p>10 戦後初の衆議選が行われ、北海道2区(定員9名)で釧中卒の伊藤郷一・森三樹二が当選する。</p> <p>.. 釧路市戦災復興土地区画整理事業が5ヶ年計画で始められる。</p> <p>.. 道東俳句会が設立され、機関誌『えぞにう』が創刊される。</p> <div data-bbox="687 972 970 1332" data-label="Image"> </div> <p>【『えぞにう』昭和27年1月号】 道東俳句会は昭和23年1月に「えぞにう社」と改称した。平成18年には創刊700号記念合同句集『えぞにうの華・第三集』を発刊している。</p> <p>.. 音別軍馬補充部用地が開放され、緊急入植者の入地が決まる。</p>	<p>10 初の婦人参政権による総選挙、自由141・進歩94・社会93・協同14・共産5・諸派38・無所属81、婦人立候補者89名中39名当選</p> <p>20 持株会社整理委員会令公布</p>
5	<p>1 戦後初の復活メーデーが举行され、釧路で3,500人が参加する。</p> <div data-bbox="264 1438 805 1765" data-label="Image"> </div> <p>【炭住街でのメーデー出陣式】</p> <p>17 釧路瓦斯労働組合が結成される。</p> <p>18 釧路野球連盟(後の釧路軟式野球連盟)が結成される。</p> <p>29 釧路臨港鉄道労働組合が結成される。</p> <p>.. 釧路体育協会(後の釧路市体育協会)が発足する。</p> <p>.. 演芸文化研究会(春秋座)が発足する。</p> <p>.. 文芸同人誌『ふいりあ』(第1次)が創刊される。</p>	<p>3 極東国際軍事裁判所開廷</p> <p>19 飯米獲得人民大会(食糧メーデー)举行</p> <p>22 第1次吉田茂内閣成立</p>

6	<p>5 釧路遺族会結成総会が開催される。</p> <p>30 市民大運動会が復活復活開催される。(第29回)</p>	22 GHQ、漁業操業海域を拡大
7	<p>13 佐藤国司市長死去(7/1)により、衆議選挙法に準拠した市長選挙が行われ、菊地三之助が当選する。(全国に先駆けた市長公選)</p> <p>18 釧路港湾振興会(船主・荷役業者・荷主・倉庫業者)が発足する。</p> <p>25 釧路総合文化連盟主催の文化講演会が商工会議所で開かれる。</p> <p>28 鳥取大師教会が設立される。(後の真言寺)</p> <p>.. 釧路庭球・卓球連盟が結成される。</p>	5 文部省、市町村に公民館設置を通達
8	<p>7 北海道興農公社従業員組合(後の雪印乳業労組)が結成される。</p> <p>15 霧笛社が『北海道短歌選集』(小川勲)を発刊する。</p> <p>.. 釧路排球聯盟が再建され、全道実業人排球大会予選が行われる。</p>	<p>1 日本労働組合総同盟(総同盟)結成</p> <p>12 経済安定本部令公布</p> <p>19 全日本産業別労働組合会議(産別)結成</p>
9	<p>1 釧路山岳会(後の釧路山岳連盟)が創立される。</p> <p>10 社団法人釧路商工会議所が設立される。</p> <p>23 尺別炭鉱で休坑後の初送炭を行ない、復興祭を祝う。</p> <p>25 釧路馬匹組合が釧路種馬一千頭共進会を開催する。(～29日)</p>  <p>【大楽毛家畜市場での共進会風景】</p> <p>.. 極洋捕鯨釧路事業場が操業を再開する。</p>	<p>9 生活保護法公布</p> <p>13 民生委員令公布</p> <p>27 労働関係調整法公布(労働争議調停法廃止)</p>
10	<p>10 太平洋・雄別・尺別・庶路の各労組がストに入る。(～15日)</p> <p>17 青空画会が復活し、第28回「青空画展」が開かれる。(～20日)</p> <p>.. 休坑にされていた音別炭鉱が採炭を再開する。</p> <p>.. 第1回釧路市体育祭が釧路体育協会により開催される。</p>	<p>8 文部省、教育勅語廃止等を通達</p> <p>10 全日本炭鉱労組(全炭)ゼネスト6万人参加</p> <p>21 自作農創設特措法公布(第2次農地改革)</p>
11	<p>20 釧路スキー聯盟が結成される。</p> <p>27 『東北海道新聞』が創刊される。</p>	<p>3 日本国憲法公布</p> <p>20 日本商工会議所設立</p>
12	<p>10 佛心寺が寺号公称を許可される。</p> <p>22 鳥取町の誠行寺が寺号公称を許可される。</p>	<p>21 南海道大地震(M8.0)、死者1,330人</p> <p>22 全道一斉に市町村農地委員選挙実施</p> <p>27 閣議、石炭・鉄鋼中心の傾斜生産方式決定</p>
(この年)		(この年)
	<p>.. 食料品の遅配・欠配が続き、物価が急騰する。</p>	<p>.. 東京小売物価指数1,893・卸売同1,627</p> <p>.. 鉱工業生産指数30.7・製造工業同52.2</p> <p>.. 道内の労組1,439・約30万人、全国で17,266</p> <p>.. 4,925,958人</p> <p>.. 全国で同盟罷業622件・510,391人参加</p>






## 昭和22年(1947)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	20 各小学校でララ物資の缶詰等による給食が始まる。	1 400万人ゼネスト、マッカーサー命令で中止
3	9 新壘釧路支部(33年「支社」)が結成され、発足歌会が開かれる。 25 札幌自動車事務所釧路出張所(後の陸運事務所)が開設される。 31 音別町の旧軍馬補充部を改造し、引揚者収容所が開設される。	31 教育基本法・学校教育法、各公布
4	5 阿寒村長選で小村義馬、音別村長選で紅林鉄雄が当選する。 5 釧路市長選で佐熊宏平、鳥取町長選で藤村敏一が当選する。 8 大川町の釧路国民勤労働員署が、釧路公共職業安定所と改称され、同所内に北海道釧路労政事務所が併設される。 17 釧路地方裁判所が設立される。 30 阿寒村(定員26名)・音別村(同22名)議会議員選挙が行われる。 30 釧路市(定員36名)・鳥取町(同24名)議会議員選挙が行われる。 30 道議選で市部太田益夫、管内本間武三・小川吉雄が当選する。 ・・ 釧路庭球連盟(後の釧路軟式庭球協会)が発足する。 ・・ 釧路地区バスケットボール協会が創立される。	1 新学制による小・中学校発足 7 労働基準法公布 14 独占禁止法公布 16 道庁長官決選投票、田中敏文が当選 17 地方自治法公布 20 第1回参議選、社会47・自由39・無所属108 25 総選挙、社143・自131・民124・協31 30 第1回統一地方選挙
5	1 六・三制が始まり、市は南中・東中、鳥取町は鳥取・共栄・桜田中、阿寒村は阿寒・共和・雄別・徹別・上徹別・仁々志別・阿寒湖の各中学校、音別村は音別・二俣・尺別炭鉱の3中学校が開校する。  【中学校3教室を増築した当時の二俣小中学校】 中学は平成8年、小学が平成9年に各々閉校。昭和60年改築の校舎が平成12年、体験学習センター「こころみ」に生まれ変わっている。  【釧路市立南中学校】 昭和27年に移転して弥生中となり、この校舎は東中が61年まで使用する。	3 日本国憲法・地方自治法など、各施行 19 経営者団体連合会創立(翌年、日本経営者団体連盟【日経連】と改称)
	1 道庁釧路営林区署が林野庁帯広営林局釧路営林署となる。 3 釧路司法事務局(後の法務局)と釧路簡易裁判所が設置される。 11 雄別炭礦鉄道(株)が三菱鉱業(株)から分離独立する。 20 阿寒村役場雄別支所が栄町指定商組合を間借りして開設される。 ・・ 議会議長に釧路市山崎鉄三郎・鳥取町鈴木正一・阿寒村大野直栄・音別村牧幾太郎が就任する。	

6	<p>22 第30回市民大運動会で仮装行列が復活する。          ・・ 釧路保健所が警察署から衛生行政事務を移管される。</p>	<p>1 片山哲内閣(社・民・協の3党連立)成立</p>
7	<p>19 釧路市・太平洋警防団を解散し、同各消防団が設置される。</p>	<p>1 公正取引委員会発足          5 経済安定本部、新価格体系を発表</p>
8	<p>20 鳥取町警防団を解散し、鳥取町消防団が設置される。          21 阿寒村警防団を解散し、阿寒村消防団が設置される。          ・・ 札幌財務局釧路地方部及び管内各出張所が開設される。          ・・ 日本棋院釧路支部が結成される。</p>	<p>4 最高裁判所発足</p>
9	<p>1 釧路労働基準監督署が旭町に開設される。          1 音別・尺別炭砦警防団を解散し、同各消防団が設置される。          16 阿寒村の大洪水で死者6人、家屋の流失2戸・浸水33戸等の被害。          20 音別教会(本願寺派)が常竜寺として寺号公称を許可される。          29 雄別警防団を解散し、雄別消防団を結成する。          ・・ 釧路短歌会が発足する。</p>	<p>14 キヤサリン台風、16日までに全国の死者、関東地方を主に2,247人</p>
10	<p>1 国勢調査で、釧路市61,421人、鳥取町12,100人、阿寒村15,004人、音別村7,395人とされる。          11 雄別中学校生徒14名が阿寒湖で遭難する。</p>  <p>【雄別中学生阿寒湖遭難慰霊碑】          試運転中のモーターボートに生徒たちが乗り込んだが、岸から300mの地点で転覆、生徒14名が遭難した。33回忌の昭和54年、湖畔の正徳寺に慰霊碑が建立される。</p> <p>・・ 太平洋炭砦が桂恋坑を開坑する。(昭和32年閉坑)</p>	<p>1 第6回国勢調査、北海道人口3,852,821人          26 改正刑法(不敬罪・姦通罪廃止等)公布          30 関税と貿易に関する一般協定(GATT)調印</p>
11	<p>1 (社)釧路歯科医師会が設立される。          3 シュンケ舌辛川支流の早川の沢で古潭炭砦が開坑する。          ・・ 釧路新響管弦楽団が創立される。</p>	<p>17 警察法公布(国家地方警察・自治体警察・各公安委員会設置)          19 農業協同組合法公布(農業団体法廃止)</p>
12	<p>1 釧路駅に鉄道公安所が設置される。(昭和24年に公安室と改称)</p>	<p>18 過度経済力集中排除法公布          20 臨時石炭鉱業管理法公布(炭鉱国家管理)          22 改正民法・改正戸籍法、各公布</p>
(この年)		(この年)
<p>・・ 湯波内で460町歩が買収され、34戸の小作農に譲渡される等、釧路地方でも農地改革が始められる。          ・・ 阿寒村で赤痢が流行し、221人が罹患、4人が死亡する。</p>		<p>・・ 道内の主食遅配90日に(全国平均20日)          ・・ 最大のベビーブーム、出生 2,678,792人、出生率 34.3人/1,000人          ・・ 全国で同盟罷業351件・212,081人参加</p>



## 昭和23年(1948)


月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北海道興農公社釧路工場が北海道酪農協同(株)同と改称する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>26 帝銀稚名町支店行員12人毒殺(帝銀事件)</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>8 鳥取町主畜農業協同組合(後の釧路市農協)が創立される。</li> <li>9 (社)釧路市医師会が設立される。</li> <li>15 音別村農業会が解散し、音別村主畜農業協同組合が創立される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9 国立国会図書館法公布</li> <li>10 片山哲内閣総辞職</li> <li>13 産別民主化同盟(民同)結成</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>7 音別村警防団が解散し、音別村消防団が設置される。</li> <li>25 市公安委員会が発足し、釧路市警察の開庁式が行われる。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  <p>【26年10月、黒金町に移転・新築された釧路市警察署】</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7 新警察制度発足</li> <li>10 芦田均内閣(民・社・協の3党連立)成立</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 上大楽毛中(後の鶴丘中)・穂禰平中・湯波内中が開校する。</li> <li>1 音別村役場尺別炭砵支所が設置される。</li> <li>1 新制高等学校の発足により、釧路中学校が釧路高等学校、釧路高等女学校は釧路女子高等学校、釧路工業学校は釧路工業高等学校、釧路実科高等女学校は市立高等女学校となる。</li> <li>26 阿寒村商工協同組合が設立される。</li> <li>・ 日本通運が釧路港湾運送事業に進出する。</li> <li>・ 道東トラック協会(後の釧根地区トラック協会)が設立される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 新制高等学校(全日制・定時制)発足</li> <li>13 改正証券取引法公布(金融機関の証券業務兼営禁止)</li> <li>27 海上保安庁設置法公布</li> <li>28 夏時刻法公布(サマータイム制)</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 釧路海上保安部が設置される。</li> <li>1 阿寒村農業共済組合が設立される。</li> <li>20 音別村農業共済組合設立総会が開催される。</li> <li>28 雄鉄の鳥取支線が竣工し、雄別炭が北埠頭送りとなる。</li> <li>・ 音別村開拓農協が創立される。(昭和26年に主畜農協に統合)</li> <li>・ 阿寒(20日)・徹別(10)・仁々志別(25)の各主畜農協が創立される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10 石炭庁設置法公布</li> <li>18 道、財政白書を発表</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>9 中音別小学校の開校式が行われる。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  <p>【中音別小学校】 中音別444にあり、昭和40年、音別小・二俣小へ統合された。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>23 昭和電工社長、商工省への贈賄容疑で逮捕(昭和電工事件)</li> <li>28 福井地震(M7.1)、死者3,769人</li> </ul>

<p>7 5 潮音寺の寺号公称が許可される。</p> <p>8 東栄小学校に聾唖学級(釧路聾学校の前身)が開設される。</p> <p>20 農林省道食糧事務所音別出張所が開設される。</p> <p>.. 『鉄鉾文芸』が創刊され、佐々木武観が戯曲を発表し始める。</p>  <p>【若き日の佐々木武観】 翌年、戯曲『荒原地』で第1回国鉄文芸年度賞を受け、昭和26年上京して作家生活に入る。</p>	<p>15 教育委員会法公布</p> <p>20 国民の祝日に関する法律公布</p> <p>31 政令201号公布(公務員の団体交渉権・スト権を剥奪)</p>
<p>8 1 釧路地方経済調査庁(後の監察局)が商工会議所内に開設される。</p> <p>13 釧路主畜農業協同組合連合会(釧路地区連)が設立される。</p>	<p>9 国労新得分会で職場離脱開始</p>
<p>9 6 市内初の認可保育所として釧路頌栄保育園(聖公会)が開園する。</p> <p>.. 春採ペンクラブが創立され、同人文芸誌『行人』が創刊される。</p>	<p>.. アイオン台風、死者・行方不明 2,368人</p>
<p>10 .. 釧路国支庁より足寄郡を十勝支庁に編入する。</p>	<p>19 第2次吉田茂内閣成立</p>
<p>11 1 北海道教育委員会釧路国事務局(後の釧路教育局)が発足する。</p> <p>3 阿寒村農産物品評会が開催される。</p>	<p>1 北海道教育委員会発足(10/5第1回選挙)</p> <p>12 極東国際軍事裁判判決、7人が絞首刑</p>
<p>12 1 日本肥料(株)が北海道化学肥料(株)釧路工場として操業再開する。</p>  <p>【日東化学工業(株)釧路工場】 昭和26年に日東化学工業(株)に買収され、増設・改修で生産能力5万トとなった。</p> <p>7 釧路家庭裁判所が設置される。(1/1開庁の家事審判所を改称)</p>  <p>【柏木町の釧路家庭裁判所】 昭和39年に新築した地方裁判所等の合同庁舎へ入る前の庁舎</p>	<p>2 漁業権等臨時措置法公布</p> <p>7 昭和電工事件で芦田前首相逮捕</p> <p>15 水産業協同組合法公布</p> <p>18 GHQ、米政府指令「経済安定9原則」発表</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>.. 東北海道陸上競技選手権大会が市営グラウンドで復活開催される。</p> <p>.. 仏海寺の布伏内分教会(後の浄泉寺)が開設される。</p>	<p>.. 日本脳炎流行、全国で2,620人死亡</p> <p>.. 全国で同盟罷業667件・2,298,530人参加</p>




## 昭和24年(1949)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	29 釧路児童相談所が城山の仮事務所に開設される。 .. 阿寒観光協会が創立される。	23 総選挙、民自 <b>264</b> ・民主 <b>69</b> ・社会 <b>48</b> ・共産 <b>35</b> ・協同 <b>14</b>
2	.. 阿寒村公民館が村長公宅を転用して開館する。 .. 丸三鶴屋2階に市立郷土博物館が仮移転する。 .. 第1回雌阿寒岳スキー大会が開催される。	16 第3次吉田茂内閣成立
3	14 北埠頭の石炭ローダーが完成し、石炭の接岸荷役が開始される。 .. 釧路作家クラブの同人文芸誌『北方文芸』が創刊される。	7 ドッジ米国公使、経済安定 <b>9</b> 原則実現化具体策を表明(ドッジライン)
4	.. 尺別炭鉱が雄別礦業所から分離され、尺別礦業所となる。	1 道内に農業改良普及員 <b>342</b> 名を配置
5	9 日本郵船の雲仙丸が 釧路—東京間の定期 航路に就航する。    【出航する雲仙丸 と見送る市民ら】  22 釧路市漁業協同組合が設立される。	24 通商産業省設置法公布 31 新制国立大学設置、道内は <b>5</b> 校発足
6	1 市設魚揚場 <b>B</b> 棟が錦町に完成し、業務を開始する。(8月に <b>A</b> 棟が竣工し、併せて落成式が行われる) 1 釧路司法事務局が釧路地方法務局と改称される。 5 公会堂が改修され、釧路市公民館として開館する。 12 二代目鳥取橋が完成し、渡橋式が行われる。 18 釧路市東部漁業協同組合が設立される。 22 道東華道文化協会の結成総会が公民館で開かれる。 .. 釧路地方弓道連盟が結成される。 .. 東北海道柔道同好会(後の釧路柔道連盟)が結成される。	1 日本国有鉄道・日本専売公社発足 1 逓信省、郵政省と電気通信省に分離 10 社会教育法公布
7	6 釧路茶道文化協会が発足する。 12 道立水産試験場釧路支場が大川町に再開設される。 .. 釧路少年成人保護観察所(後の釧路保護観察所)が設置される。 .. 釧路ハイヤー協会(後の釧根地区ハイヤー協会)が設立される。	5 下山国鉄総裁、轢死体で発見(下山事件) 12 国鉄第2次人員整理、約 <b>6万3千</b> 人に通告 15 中央線三鷹駅で無人電車暴走、 <b>6</b> 人死亡 (三鷹事件)
8	1 王子製紙が <b>3</b> 分割され、釧路工場が十條製紙釧路工場となる。 6 「釧路短歌会」を再編して「釧路短歌連盟」が発足する。 10 北海道学芸大学(後の北海道教育大学)釧路分校が開校する。  【当時の学芸大学釧路分校(城山の東中校舎西側半分を市から譲渡された)】	15 GHQ、石炭配給統制撤廃を指令 17 東北本線で旅客列車脱線・転覆、 <b>3</b> 人死亡 (松川事件) 26 税制改革に関するシャープ勧告

<p>15 釧路郵便局の電信課・電話課が分離され、釧路電気通信部の電報局・電話局となる。(電報局庁舎は昭和32年まで郵便局2階)</p> <p>27 龍清寺が寺号公称を許される。</p> <p>.. 極洋捕鯨釧路事業場が副港に移転・新築される。</p>	
<p>9 5 北中学校が開校する。</p> <p>20 釧路鉄道管理部が釧路鉄道局と改称する。</p>	<p>10 全道庁委員長ら56名誠首(レッドページ)</p> <p>19 人事院、政治活動制限の規則制定</p>
<p>10 1 北海道電波監理局釧路電波監視局が開設される。</p> <p>2 弘宣寺(雄別)の寺号公称が許可される。</p> <p>10 釧路市(14,826戸71,731人)と鳥取町(2,638戸13,449人)及び白糠村の一部(37戸308人)が合併する。</p>  <p>【鳥取町役場庁舎前にて町議・町長・助役らの合併記念写真】</p> <p>.. 釧路スキー連盟が結成される。</p> <p>.. 阿寒湖漁業協同組合が設立される。</p> <p>.. 雄別炭山で同人文芸誌『火山脈』が創刊される。</p>	<p>1 毛沢東、中華人民共和国成立を宣言</p> <p>6 学術会議、研究機関人事は政治に左右されてはならないと決議</p> <p>20 東京都公安条例公布・施行</p>
<p>11 3 公民館で初めて「総合文化展」(26年から「文化祭」)が開催される。</p> <p>6 第1回東北海道演劇コンクールが開催される。</p> <p>10 鳥取町との合併に伴って、市議会議員選挙(定数36名)と市長選挙が併せて実施され、佐熊宏平が釧路市長に再選される。</p> <p>30 鶴ヶ岱に市営球場が開設される。(後の富士見球場)</p> <p>30 太平洋炭砒興津坑の出炭が始まり、同別保坑が閉鎖される。</p> <p>.. 音別村営の鮭孵化事業が開始される。</p>	<p>1 道交法改正で対面交通(人は右・車は左)</p> <p>3 湯川秀樹、ノーベル物理学賞決定</p> <p>3 北海道文化賞第1回授賞式举行</p> <p>26 プロ野球、2リーグに分立</p>
<p>12 3 桜が丘小学校の開校式が行われる。</p> <p>20 神八三郎と定光寺により祈願寺が建立される。</p> <p>22 釧路機船底曳網漁業協同組合が設立される。</p>	<p>10 全国産業別労働組合連合(新産別)結成</p> <p>15 私立学校法公布</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>.. 北方芸術座・白樺座・すずらん座・ひまわり座・木の実座・釧路演劇部・釧路演劇研究会等の各劇団が盛んに公演を行う。</p> <p>.. マサバ巻網漁の水揚が1千万貫(約3万7千ト)となる。</p>	<p>.. ドッジライン実施でインフレ沈静化</p> <p>.. 労組員6,655,483人で最高の組織率55.8%</p> <p>.. 全国で同盟罷業511件・1,117,154人参加</p>


## 昭和25年(1950)



月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p><b>10</b> 釧路鉄道局を釧路鉄道管理局、釧路工機部を釧路工場とする。</p> <p><b>21</b> 尺別炭砒独身寮が全焼する。(死者<b>2</b>名・負傷<b>7</b>名・罹災<b>184</b>名)</p>	
2	<p><b>5</b> 真言寺の寺号公称が許可される。</p> <p><b>13</b> 本祥寺の寺号公称が許可される。</p> <p><b>28</b> 雄昌寺(雄別)の寺号公称が許可される。</p>	<b>10</b> 北海道開発法案を閣議決定
3	<p><b>31</b> 釧路市立高等女学校が閉校する。</p> <p>.. 新日本文学会釧路支部が発足する。</p>	<p><b>30</b> 札幌証券取引所開所</p> <p><b>31</b> 米以外の食糧配給・価格統制撤廃</p>
4	<p><b>1</b> 釧路市消防本部・消防署・消防団が発足する。</p> <p><b>1</b> 上音別小に二俣中上音別分校が併置される。(昭和<b>29</b>年に上音別小・中学校となる)</p> <p><b>1</b> 釧路高等学校が北海道釧路湖陵高等学校、釧路女子高等学校が北海道釧路江南高等学校に改称され、男女共学となる。</p> <p><b>1</b> 東栄小の聾啞学級が道に移管されて北海道釧路聾学校となり、湖陵高校の一部を借用して開校する。(昭和<b>28</b>年新校舎移転)</p> <p><b>13</b> 市立高等家政学院(後の星園高)が学芸大学の一部を仮校舎として開校する。(翌年<b>11</b>月<b>1</b>日、新校舎移転)</p> <p>.. 釧路柔道会館が幣舞橋詰に開設される。</p>	<p><b>1</b> 札幌医科大学開学</p> <p><b>15</b> 公職選挙法公布</p> <p><b>21</b> 日本炭鉱労働組合(炭労)結成</p> <p><b>30</b> 図書館法公布</p>
5	<p><b>1</b> 雄鉄舌辛駅が阿寒駅と改称される。</p>  <p>【雄別鉄道阿寒駅】</p> <p><b>6</b> 市立で初めての栄町保育園が開園する。</p> <p><b>12</b> 戦後初めて、外国貿易船が入港する。</p> <p><b>25</b> 釧路地区保護士会が発足する。</p>	<p><b>1</b> 北海道開発法公布(<b>6.1</b>道開発庁設置)</p> <p><b>6</b> 国民金融公庫法公布(<b>6.6</b>発足)</p> <p><b>16</b> 北大でGHQ講演会阻止(イールズ事件)</p> <p><b>20</b> 臨時石炭鉱業管理法廃止(国管理終了)</p>
6	<p><b>1</b> 標茶農業高校雄別分校(定時制)が開設される。(年内に校名を釧路富士見高校雄別分校と改称、翌年阿寒高校となる)</p> <p><b>10</b> 北海道酪農協同(株)釧路工場が北海道バター(株)釧路工場となる。</p>	<p><b>4</b> 参議選、自由<b>52</b>・社会<b>36</b>・緑風<b>9</b>・無所属<b>19</b></p> <p><b>6</b> マッカーサー、共産党幹部の公職追放指令</p> <p><b>10</b> 北海道酪農協同(株)、北海道バター(株)と雪印乳業(株)に分離</p> <p><b>25</b> 朝鮮戦争勃発</p>
7	<p><b>1</b> 三ツ輪運輸(株)が分離されていた釧路港運(株)と北邦運輸(株)を合併して復元再編される。</p> <p><b>30</b> 市営球場で、大映vs毎日のプロ野球公式戦が開催される。</p> <p><b>31</b> 鮮魚介統制が<b>4</b>月から全廃され、釧路鮮魚介集出荷共同組合(ミツウロコ)・市漁協・釧路冷蔵商事の<b>3</b>卸売市場が発足する。</p> <p>.. 釧路市立高校(定時制)が釧路富士見高等学校と改称される。</p>	<p><b>2</b> 金閣寺、放火により全焼</p> <p><b>8</b> マッカーサー、国家警察予備隊創設指令</p> <p><b>11</b> 日本労働組合総評議会(総評)結成</p> <p><b>24</b> GHQ、新聞協会代表にレッドページ指令</p>

<p>8 21 市営製氷工場が操業を開始する。</p> <p>22 釧路市で観測史上4位の最高気温<b>30.4度</b>を記録する。</p> <p>・前年に続くサバ大漁で、全国から<b>300隻</b>近い漁船が釧路に集まる。</p>	<p>10 警察予備隊令公布・施行</p>
<p>9 1 市立釧路図書館条例が制定され、図書館協議会が設置される。</p>	<p>5 公務員レッドパージを閣議決定</p>
<p>10 1 急行第<b>3・4</b>列車(釧路—函館間)に「まりも」の愛称が復活する。</p> <p>5 妙堅寺の寺号公称が許可される。</p> <p>5 阿寒村にマリモ愛護会が設立される。</p> <p>7 第<b>1</b>回マリモ祭りが湖畔で開催される。</p> <div data-bbox="678 454 999 869" data-label="Image"> </div> <p>【第1回マリモ祭り】 戦後の混乱期にマリモの盗採・ヤミ売りが横行、電力不足のため水力発電への過放水による水位低下もあって、マリモ全滅の危機を救おうとの思いが祭りに結実した。</p> <p>12 知茶布隧道が住民による工事で開通する。</p> <p>・市立病院が火災から<b>7年9ヶ月</b>ぶりに再建される。</p> <p>・釧路スケート連盟が結成される。</p> <p>・釧路でもレッドパージが進められる。(11月迄に太平洋労組<b>51名</b>・国鉄労組<b>22名</b>・雄別労組<b>20名</b>・尺別労組<b>11名</b>外)</p> <div data-bbox="703 1021 1007 1429" data-label="Image"> </div> <p>【レッドパージ: 釧路炭田各鉱での共産党関係者追放の新聞記事】</p>	<p>1 第7回国勢調査、道人口<b>4,295,567</b>人</p> <p>1 日中友好協会設立</p> <p>13 戦争協力者の公職追放解除(<b>3,250</b>人)</p> <p>25 中国人民義勇軍、朝鮮戦争に参戦</p>
<p>11 1 白糠村に町制が施行される。</p> <p>20 泰心寺の寺号公称が許可される。</p> <p>・舌辛—布伏内間道路(約<b>8km</b>)が完成する。</p>	<p>10 旧軍人の公職追放解除(<b>3,250</b>人)</p> <p>16 全北海道労働組合協議会(全道労協)結成</p>
<p>12 15 聞名寺春採説教所(後の法光寺)が開設される。</p> <p>17 国民健康保険村立音別病院が完成し、開院式が行われる。</p> <p>21 北埠頭建設工事が竣工する。</p> <p>25 北海道無盡(株)釧路支店が開設される。</p>	<p>7 池田蔵相発言「貧乏人は麦を食え」物議</p> <p>13 地方公務員法公布</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>・釧路音楽同好協会が発足する。</p> <p>・釧路市青果商業協同組合(<b>2.28</b>)、釧路水産物商業協同組合(<b>3.29</b>)等の商工業協同組合が多数設立される。</p>	<p>・朝鮮戦争による「特需景気」始まる</p> <p>・魚群探知機全国に普及開始</p> <p>・日本脳炎流行、全国で<b>2,430</b>人死亡</p> <p>・全国で同盟罷業<b>566</b>件・<b>761,050</b>人参加</p>





## 昭和26年(1951)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p><b>8</b> 釧路市観光協会の設立総会が開かれる。</p> <p><b>28</b> 第1回釧路市スケート大会(十條リンクでアイスホッケー、春採湖でスピード)が開催され、初めて全国放送で実況中継される。</p>	<p><b>25</b> ダレス米特使来日、吉田首相と数次の会談後、講和条約骨子等を声明して<b>2.11</b>離日</p>
2	<p><b>20</b> 市立釧路図書館が新築され、開館する。</p> <p>【市立釧路図書館】 名称は図書館でも、独立した建物ではない図書室だったのが、名実共に「図書館」となった。</p> 	<p><b>23</b> 共産党4全協、武装闘争方針決定</p>
4	<p><b>1</b> 春採中学校が開校する。(5月18日まで南中校舎併用)</p> <p><b>1</b> 鳥取132番地に鳥取中学校の新校舎が建設される。</p>  <p>【鳥取中学校】 昭和52年の鉄筋校舎竣工まで使われた木造校舎</p> <p><b>1</b> 釧路富士見高校雄別分校が村立阿寒高等学校として独立する。</p> <p><b>4</b> 日本水産(株)釧路出張所の捕鯨事業場が操業を開始する。</p> <p><b>8</b> 商業協同組合釧路専門店会が再結成される。</p> <p><b>16</b> 尺別炭鉱に釧路湖陵高校音別分校(定時制課程)が設置される。</p> <p><b>23</b> 阿寒で小村義馬・音別で紅林鉄雄が、両村長共再選される。</p> <p><b>23</b> 阿寒村(定員26名)・音別村(定員22名)議会議員選挙が行われる。</p> <p><b>30</b> 道議選で市部は太田益夫・菊池三之助、管内は岡林歓喜・二瓶栄吾が当選する。</p> <p>・・ 富士見高等学校が道に移管され、湖陵高校定時制課程となる。</p> <p>・・ 道立公共職業補導所(後の道立職訓)が弥生町に開設される。</p>	<p><b>3</b> 宗教法人法公布</p> <p><b>11</b> トルーマン米大統領、マッカーサーを解任</p> <p><b>30</b> 第2回道知事・道議選、田中知事が再選</p>
5	<p><b>1</b> 新日本文学会釧路支部の『釧路文学』が創刊される。</p> <p><b>1</b> 鶴ヶ岱公園の太鼓橋・小動物園・弓道場等が完成し、開園する。</p> <p><b>13</b> 釧路市民俳句会が発足する。</p> <p><b>14</b> 市児童図書館(後の栄町児童館)が栄保育園2階に開設される。</p> <p><b>18</b> 東中学校が南中校舎の一部を借用して現在地に移転する。</p> <p><b>19</b> 桜が丘小学校が移転・新築される。(旧校舎は春中となる)</p> <p><b>22</b> 釧根貨物自動車会社が釧路貨物自動車(株)等7社に分割される。</p>	<p><b>1</b> 北海道電力(株)等全国9電力発足</p> <p><b>19</b> 浜中町の映画館で火災、小中生24人・幼児14人・大人4人の計42人焼死</p> <p><b>29</b> 港湾運送事業法公布(登録制実施)</p>
6	<p><b>15</b> (株)一印釧路青果卸売市場が創立される。</p> <p><b>25</b> 佐々木武観の『拓林飯場』(映画『ならずもの』原作)が発刊される。</p>	<p><b>20</b> 政財界人の第1次追放解除、2,958人</p> <p><b>21</b> ILO及びユネスコ、日本の加盟承認</p>
7	<p><b>1</b> 釧路土木現業所が釧路開発建設部となる。</p> <p><b>1</b> 釧路埠頭倉庫(株)専用鉄道(新富士—北埠頭)が雄別炭礦鉄道(株)に譲渡され、同社埠頭線となる。</p> <p><b>28</b> 鶴ヶ岱公園内に市立郷土博物館の新館が竣工する。</p>	<p><b>1</b> 北海道開発局発足</p> <p><b>2</b> 政府、地方の公職追放者6万6千人解除</p> <p><b>10</b> 持株会社整理委員会廃止の政令公布</p> <p><b>10</b> 朝鮮戦争休戦会談、ケソン(開城)で開始</p>

	<p>・阿寒村役場が<b>16線30</b>に移転・新築される。</p>  <p>【阿寒村役場】</p>	
8	<p>2 釧路弁護士会が設立される。</p> <p>17 第1回釧路畜牛共進会が大楽毛家畜市場で開催される。(～19日)</p> <p>18 公民館で成人学校開校式が行なわれる。(料理・英会話等9学級)</p> <p>28 釧路市社会福祉協議会が発足する。</p>	<p>6 政財界人の第2次追放解除、<b>13,904</b>人</p> <p>16 旧軍将校追放解除、<b>11,185</b>人</p> <p>22 講和条約全権委員<b>6</b>名任命</p>
9	<p>3 北海道銀行釧路支店が開設される。</p> <p>16 阿寒湖畔に石川啄木の歌碑が建立される。</p> <p>24 穂弥平等5部落<b>220</b>戸が電化され、祝賀会が開かれる。</p> <p>・松光寺の寺号公称が許可される。</p>	<p>8 サンフランシスコ講和会議、対日平和条約(49カ国)・日米安全保障条約調印</p>
10	<p>6 釧路貿易振興会が設立される。</p> <p>6 市警察署が日銀支店建設の為、黒金町に移転・新築されて執務を開始する。(市警旧庁舎は解体移設され博物館になる)</p> <p>20 北洋無盡が北洋相互銀行、北海無盡が北海道相互銀行となり、各釧路支店が改称される。</p> <p>23 釧路信用組合が釧路信用金庫と改称する。</p> <p>24 第1回全道高校演劇コンクール釧路地区大会が開催される。</p> <p>26 北海道化学肥料(株)釧路工場が日東化学工業(株)同となる。</p> <p>29 富士銀行釧路支店が北大通に移転・新築される。</p> <p>・阿寒村役場雄別支所が完成し、栄町指定商組合から移転する。</p>  <p>【阿寒村役場雄別支所】</p> <p>・釧路地方総合開発期成会が発足する。</p>	<p>6 道開発審、道開発総合計画等を答申</p> <p>24 社会党、講和・安保で左右両党に分裂</p> <p>26 東京―札幌間の民間航空、運航再開</p> <p>26 衆議院、講和・安保両条約を承認</p>
11	<p>3 公民館で第1回釧路市文化祭が開催される。(後の芸術祭)</p>	<p>14 日・米・加<b>3</b>カ国漁業条約調印</p>
12	<p>2 市立病院が全焼し、<b>19</b>人が死亡(内、焼死者<b>14</b>人)する。</p> <p>・新生産業(株)が知茶布川上流に阿寒炭砒を開坑する。</p>	<p>1 博物館法公布</p> <p>17 水産資源保護法公布</p>
(この年)		(この年)
<p>・鶴ヶ岱と鳥取の新築市営住宅<b>50</b>戸に<b>755</b>世帯が入居を申し込む。</p> <p>・大洋漁業・日本冷蔵・日魯漁業の各水産工場が操業開始し、戦前からの極洋捕鯨・日本水産と合わせ<b>5</b>大水産会社が釧路に出揃う。</p>		<p>・鉱工業生産指数<b>127.7</b>・製造工業同<b>114.8</b></p> <p>・赤痢流行、全国で<b>14,836</b>人死亡</p> <p>・全国で同盟罷業<b>546</b>件・<b>1,159,740</b>人参加</p>


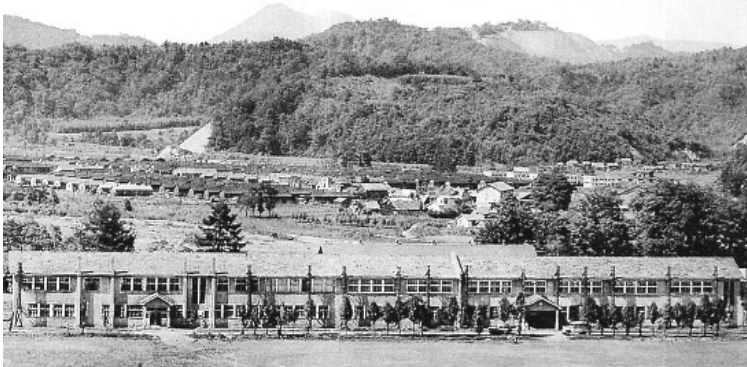
## 昭和27年(1952)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	5 太平洋炭鉱労組文化部の『郷土』が創刊される。	21 札幌市警備課長射殺される(白鳥事件)
2	12 釧路児童相談所が住吉町82に移転・新築される。	19 青梅線で貨車4両暴走事故(青梅事件)
3	<p>4 十勝沖地震により千代の浦で2.2メートル・音別で2.7メートルの津波に襲われ、集合煙筒倒壊・ズリ山崩壊で15名死亡。北埠頭が壊滅、久寿里橋大破等、被害総額は市が約14億円・音別村約1億6千万円となる。</p>   <p>【左:津波を避けて高台に避難する人々 右:壊滅状態の北埠頭岸壁】</p>	<p>4 十勝沖地震(M8.2)で、死者28人・行方不明5人・負傷者287人、厚岸に6メートル・八戸で2メートルの津波、被害総額約182億円</p>  <p>【被害を受けた尺別一直別間の線路】</p>
	<p>15 市立高等家政学院が住吉に移転、星園家政専門学校と改称する。</p> <p>24 商業協同組合釧路商店会が創立される。(後に専門店会と合併)</p> <p>29 タンチョウ、マリモが国の特別天然記念物に指定される。</p>   <p>【タンチョウは釧路湿原・マリモは阿寒両国立公園の、そして釧路市のシンボル】</p>	<p>10 HBC、ラジオ放送開始(道内初の民放)</p>
4	<p>1 阿寒高校定時制課程が設置される。</p> <p>1 阿寒村社会福祉協議会が発足する。</p> <p>1 音別中学校直別分校が開設される。</p> <p>1 釧路市教育研究所が開設される。</p> <p>1 道東華道文化協会が釧路華道協会と改称する。</p> <p>15 ミツウロコ(株)釧路魚卸売市場が設立される。</p> <p>25 北洋漁業が再開され、釧路から独航船2隻が函館へ出港する。</p> <p>25 広報「くしろ」創刊号が発刊される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母子世帯が入る双葉療が古川町に開設される。</li> <li>・ 音別村教育研究所が発足する。</li> </ul>	<p>10 NHKラジオ「君の名は」放送開始</p> <p>12 破防法反対スト第1波、道内87,660人参加</p> <p>21 公職追放令廃止</p> <p>22 中標津の武佐中と教頭・教諭自宅に家宅搜索、6.22～住民同盟休校(武佐中事件)</p> <p>28 対日平和条約発効により国家主権回復</p>
5	<p>1 市立鶴ヶ岱高等学校(後の商業高校定時制課程)の開校式が、星園家政専門学校々舎にて行なわれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回全釧路対全十勝柔道選手権大会が開催される。</li> </ul>	<p>1 皇居前広場でデモ隊2名射殺、1,230名検挙(血のメーデー事件)</p>

<p>6 1 釧路一小樽間でC57型蒸気機関車による通し運転が開始される。 1 釧路崎灯台改築工事が完成する。(灯高10<sup>1</sup>尺・光達34.2km) 1 北海道労働金庫釧路支店が開設される。</p>	<p>6 中央教育審議会(中教審)設置</p>
<p>7 .. 結核治療の為、北海道立釧路療養所が鶴ヶ岱に開設される。 .. 市が普通バス型(25人乗)広報車「まりも号」を購入する。</p>	<p>21 破防法・公安調査庁設置法各公布</p>
<p>8 1 市制30周年記念式典が日進小学校体育館で挙行される。 10 阿寒村々章及び同村歌(後に町章・町歌に継承)が制定される。 23 浄土寺が創建される。</p>	<p>1 日本電信電話公社発足 13 国際通貨基金・世界銀行に日本加入調印</p>
<p>9 1 「釧路産馬一千頭共進会」が大楽毛家畜市場で開催される。 13 阿寒村開基65周年記念式典が阿寒小で挙行される。(～15日)</p>	
<p>10 1 日本銀行釧路支店が開設される。</p>  <p>【竣工直後の日銀釧路支店】明治31年日銀釧路派出所廃止以来54年ぶりの開設。</p> <p>12 釧路法人会(後の釧路地方法人会)が設立される。 17 炭労63日間ストに太平洋・雄別・尺別等労組も参加・突入する。 20 映画『女一人大地を行く』ロケ隊が太平洋と雄別で撮影を始める。 .. 阿寒村議会議員補欠(2名)選挙が行われる。</p>	<p>1 総選挙、自由240・改進黨85・右社57・左社54 15 保安隊、警察予備隊を改組し発足 17 炭労、63日間スト突入 30 第4次吉田内閣成立</p>
<p>11 1 市・阿寒村・音別村に教育委員会が設置される。(公選4名・議員1名、教育長は職員) 15 北海文学同人会の『北海文学』が創刊される。</p>  <p>【『北海文学』第1号の表紙と中表紙】</p> <p>25 音別村役場尺別炭砦支所が新尺別駅西側に移転・新築される。 .. 釧路柔道会館が旭町に移転する。</p>	<p>1 全市町村に教育委員会設置(都道府県と5大市は昭和23年設置)</p>
<p>12 4 釧路青年会議所が設立される。 22 城山の市営スケートリンクがオープンする。 .. 山下洗濯店が「エンパイアクリーニング」に商号変更する。</p>	<p>15 政府、炭労無期限ストへ緊急調整権発動(16.中止)</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>.. 日本特殊鑛(株)が雌阿寒岳中マネシリで硫黄採掘を始める。 .. 北海道税理士会道東支部(後の釧路支部)が設立される。</p>	<p>.. 個人国民所得、S9～11年の98.6%に回復 .. 全国で同盟罷業576件・1,622,549人参加</p>



## 昭和28年(1953)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	<p>19 釧路土木現業所が双葉町に移転・新築される。</p> <p>22 湖陵高校が体育館などの一部を残して焼失し、校舎借用の釧路聾学校も類焼する。</p>  <p>【炎上する湖陵高校 (職員室付近)】</p> <p>・ 東北北海道新聞が北海タイムスへ合併される。</p>	<p>1 NHK、東京地区でテレビ本放送開始</p>
3	<p>14 釧路機関区が宝町へ移転・新築される。</p> <p>31 村立阿寒高校が道に移管され、北海道阿寒高等学校と改称する。</p>  <p>【布伏内の炭住街を背にした阿寒高校。昭和50年に仲町へ移転する。】</p>	<p>14 衆議院、吉田内閣不信任案可決して解散 (バカヤロー解散)</p>
4	<p>1 南中学校が移転・新築され、弥生中学校と改称する。</p> <p>11 市立釧路商業高等学校が開校する。(前年開校の市立鶴ヶ岱高校《定時制のみ》を併設)</p> <p>15 釧路市が港湾管理者に指定される。</p> <p>・ 阿寒村国民健康保険診療所(後の町立阿寒病院)が開設される。</p>	<p>1 国際電電(株)、電電公社から分離・開業</p> <p>5 日本婦人団体連合会結成</p> <p>19 総選挙、自由199・改進黨76・左社72・右社66・分党派自由35</p> <p>24 参議選、自由46・左社18・緑風16・無所属30</p>
5	<p>4 標茶町市街地の大半を焼き尽くす大火で128棟が焼失する。</p>	<p>21 第5次吉田内閣成立</p>
6	<p>1 釧路トヨタ自動車(株)が設立される。</p> <p>27 佛心寺が春採230番地(後の5丁目15)に移転・新築される。</p> <p>・ 北水試の光洋丸と巡視船「てんりゅう」が指揮船となり、第13八幡丸等底曳船6隻が択捉島沖で試験操業を行なう。</p>	<p>13 内灘で米軍試射場反対闘争開始</p>
7	<p>23 釧路聾学校の新校舎が城山2丁目に再建・落成する。</p> <p>・ 第1回釧路市民展が公民館で開催される。</p>	<p>27 板門店で朝鮮休戦協定調印</p>
8	<p>1 釧勝線(白糠線)が法定線となり、釧美線の実現性が遠のく。</p> <p>7 日銀本店で「北海道泥炭地開発懇談会」が開催される。</p>	<p>7 電気・石炭の「スト規制法」公布・施行</p> <p>28 日本テレビ、民放初のTV本放送開始</p>
9	<p>26 青蓮寺(雄別)の寺号公称が許可される。</p> <p>・ 炭砒各社の一斉人員整理で、太平洋285人・雄別706人・尺別328人が希望退職する。</p>	<p>1 独禁法改正公布(不況・合理化カルテル等)</p>

- ・太平洋炭砒体育館が落成する。



【健保体育館】  
春採湖の一部が埋め立てられ、隣に野球場も造られた。

- 10 27 市長・市議会議員(36名)選挙が行われ、佐熊市長が3選を果たす。
- ・保安隊(後の自衛隊)釧路駐屯地が天寧に開設される。
  - ・焼失した市立病院が2年ぶりに鉄筋コンクリート造で再建される。

- 1 町村合併促進法施行
- 2 ワシントンで池田・ロバートソン会談(30日、日本の自衛力増強で一致との共同声明)

- 11 3 釧路市民俳句会が釧路俳句会に改組・改称される。
- ・北海道信用保証協会釧路支所が開設される。

- 27 三鉱連(全国三井炭鉱労組連合会)の人員整理反対闘争終結(英雄なき113日の闘い)

- 12 5 国民金融公庫釧路支店が開設される。
- 6 太平洋炭砒の春採病院が全焼し、1人が死亡する。
- 9 産業会館が落成し、釧路商工会議所が1階で業務を始める。
- 25 東邦交通の観光バス部門を分離し、阿寒バス(株)が設立される。

- 15 水俣病発症例初出(昭和31年判明)
- 24 奄美群島返還の日米協定調印(25日発効)
- ・世界銀行調査団来道、各泥炭地を調査



【阿寒バス株式会社の新社屋】



【当時の阿寒バス車両】  
昭和30年代から青を基調としたデザインに変更された




(この年)



- ・小手繰網密漁防止の為、エビ桁曳網漁の試験操業が実施される。
- ・冷害・凶作で釧路管内の農業被害額が約4億3千万になる。

(この年)

- ・道開発局、殖民軌道の動力化工事実施、翌年に向け町村に移管し簡易軌道と改称
- ・道内主要死因、脳溢血(4,714人)が結核(3,931人)に代わり1位
- ・全国で同盟罷業602件・1,333,519人参加


## 昭和29年(1954)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p><b>29</b> 商業高校と鶴ヶ岱高校が、東中内仮校舎から鳥取<b>144</b>番地(後に暁町<b>11</b>番地)の新校舎に移転する。</p>  <p>【北海道釧路商業高等学校】 翌年、道に移管され、全日と定時の両課程になり、鶴ヶ岱高校は廃校となる。昭和<b>52</b>年に昭和へ移転し、跡地に釧路養護学校が開校する。</p> <p>・ 釧路市教育会館が鶴ヶ岱<b>1</b>番地に完成する。</p>	<p><b>6</b> 青函トンネル起工式、調査ボーリング開始</p> <p><b>16</b> 札幌市で男子スピードスケート世界選手権大会開催(～<b>17</b>日)</p>
2	<p><b>13</b> 第<b>1</b>回東北海道スケート選手権大会が市営リンクで開催される。</p>	
3	<p><b>8</b> 音別町連合婦人会が結成される。</p>	<p><b>1</b> 第<b>5</b>福竜丸、米水爆実験により被災</p> <p><b>8</b> 日米相互防衛援助協定(MSA協定)調印</p>
4	<p><b>1</b> 殖民軌道雪裡線が鶴居村営簡易軌道(新富士一中雪裡)となる。</p> <p>・ 「燠」詩人会の同人誌『燠』が創刊される。</p>	<p><b>21</b> 法相、造船疑獄に指揮権発動(<b>22</b>日辞職)</p>
5	<p><b>10</b> 暴風で釧路の鮭鱒流網漁船<b>3</b>隻が沈没し、<b>33</b>人が死亡する。</p> <p><b>13</b> 鳥取小学校が鳥取町<b>47</b>番地に移転・改築される。</p> <p><b>27</b> 択捉島沖漁場へ、第<b>1</b>回の底曳船団が出漁する。</p> <p>・ 北海道労働金庫釧路支店が開設される。</p> <p>・ 釧路港が北洋鮭鱒独航船の発進帰還基地となる。</p>  <p>【出漁する北洋鮭鱒独航船団】</p>	<p><b>8</b> 改正警察法公布、警察行政の二元化</p> <p><b>9</b> 防衛庁設置法、自衛隊法各公布</p> <p><b>10</b> 暴風雨により全道で海難事故、漁船遭難<b>506</b>隻、死者<b>333</b>名</p>
6	<p><b>30</b> 釧路市警の解散式が行なわれる。</p> <p>・ ラジオ共同聴取施設が尺別・直別地区まで設置される。</p> <p>・ 釧路サイクリング協会が発足する。</p> <p>・ 北海道バター(株)音別工場の操業が開始される。</p>  <p>【北海道バター(株)音別工場】 昭和<b>32</b>年にクローバー乳業、同<b>33</b>年に雪印乳業と改称される。</p>	<p><b>8</b> 改正警察法公布(都道府県に一元化)</p> <p><b>9</b> 防衛庁設置法・自衛隊法各公布</p>

<p>7 5 阿寒営林署が釧路営林署から分割設置される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>.. 全国高校野球北海道大会が市営球場で開催される。</li> <li>.. 太平洋炭砒の桜ヶ岡ベルト斜坑が完成する。</li> </ul>  <p>【桜ヶ岡ベルト斜坑】 左は一番人車の発車時。右は坑内。</p>	<p>1 北海道警察発足、札幌・函館・旭川・釧路・北見の5方面本部設置</p> <p>8 日鋼室蘭労組、901人の解雇通知一括返上</p>
<p>8 14 天皇・皇后両陛下が阿寒(~15日)と釧路(~16日)をご訪問される。</p>  <p>【阿寒湖でマリモをご覧になる天皇陛下】 お手前の筒はマリモ観察用の覗き筒</p> <p>31 湖陵高校の焼失校舎が再建され、新校舎で授業が始まる。</p> <p>31 太平洋炭砒で坑内ガス爆発が起こり、39人が死亡する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>.. 「釧路うたう会」が全国的な「うたごえ運動」の中から発足する。</li> </ul>	<p>7 天皇・皇后両陛下、道内巡幸(~23日)</p> <p>7 国連食糧農業機関(FAO)、道内泥炭地を調査(~9.16)</p>
<p>9 15 釧路喫茶店組合が創立される。</p> <p>20 湖畔の遊覧船業者が合同し、阿寒遊覧船(株)を設立する。</p> <p>22 釧路市工場誘致条例が施行される。</p> <p>27 函館に「釧路市洞爺丸遭難者救護対策本部」が設置される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>.. 市下水道設置計画案(10カ年・1億8千万円)が議決される。</li> <li>.. 地域情報誌『東北海道』が創刊される。</li> </ul>	<p>26 台風15号(洞爺丸台風)が北海道に襲来、青函連絡船5隻が遭難し、洞爺丸の乗員・船客1,155名が死亡、岩内町で3,300戸焼失の大火、風倒木6400万石超</p>
<p>10 20 二代目久寿里橋が十勝沖地震災害復旧工事により完成する。</p> <p>27 尺別礦業所の浦幌坑が閉山する。</p> <p>31 釧路電話局の新局舎が黒金町9丁目に竣工する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>.. 前田一步園製材工場が開設される。</li> <li>.. 釧路技能者共同養成所が川北町4に開設される。</li> <li>.. 共栄・城山・桜ヶ岡の市立3保育園が開園する。</li> </ul>	
<p>11 1 太平洋炭砒職域生活協同組合(後の釧路生協)が設立される。</p> <p>20 新川小学校が開校する。</p> <p>25 十勝沖地震で被害を受けた北埠頭の復旧工事が完了する。</p>	<p>24 日本民主党(鳩山総裁)結成</p>
<p>12 23 釧路商工信用組合が創設される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>.. 釧路市国際貿易促進地方議員連盟が結成される。</li> </ul>	<p>10 鳩山一郎内閣成立</p> <p>30 日鋼室蘭争議終結(193日間)</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>.. 阿寒村で赤痢が流行し、479人が罹患する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>.. 赤痢流行、全道で10,841人罹患</li> <li>.. 全国で同盟罷業632件・915,111人参加</li> </ul>




## 昭和30年(1955)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>4 釧路社会保険出張所が城山から栄町へ移転・新築される。</p> <p>19 釧路市文化団体連絡協議会が結成される。</p>	<p>1 釧路村と昆布森村合併</p> <p>27 重要無形文化財第1次指定</p>
2	<p>1 釧路電話局の加入電話が自動交換方式に改められる。</p> <p>18 まりも国道(国道240号線)が2級国道に指定される。</p> <p>・ 第1回釧路児童スケート大会が開催される。</p> <p>・ 第1回釧路スケート連盟杯争奪アイスホッケー大会が開かれる。</p>	<p>14 (財)日本生産性本部設立</p> <p>27 総選挙、民主185・自由112・左社89・右社67</p>
3	<p>31 商業高校が道に移管され、北海道釧路商業高等学校と改称する。</p>	<p>19 第2次鳩山内閣成立</p>
4	<p>1 字名変更で、穂禰平小・中を山花小・中、湯波内小・中を桜田小・中、上大楽毛小・中を鶴丘小・中、平戸前小を北斗小と改称する。</p> <p>1 星園家政専門学校が高等学校に昇格し、釧路家政高等学校と改称する。(翌年、北海道釧路星園高等学校と改称)</p>  <p>【釧路家政高校】</p> <p>1 釧路自動車販売店協会が設立される。</p> <p>2 柏木小学校が開校する。</p> <p>10 釧路歌人会が創立される。</p> <p>23 道議選で、市部は太田益夫・阿部英一、管内は岡林歓喜・二瓶栄吾が当選する。</p> <p>30 村長選挙で阿寒は小村義馬・音別は紅林鉄雄が各3選を果たす。</p> <p>30 阿寒(定員26名)・音別(同22名)村議会議員選挙が行われる。</p> <p>・ 市の自動車練習所が市立自動車学校となる。(道内初の公立自校)</p>	<p>23 道知事・道議選、田中敏文知事3選</p>
5	<p>1 釧路港が極洋捕鯨(株)の母船式サケ・マス船団基地となり、極星丸と独航船30隻が出港する。</p> <p>・ 市内高校リーグ軟式庭球大会が行なわれるようになる。</p>	<p>・ 北洋サケマス漁業に14船団・独航船234隻、オホーツク2船団・50隻が出漁</p> <p>・ 根釧パイロットファーム床丹第2地区着工</p>
6	<p>5 『北海文学』17号が発刊され、原田康子「挽歌」の連載が始まる。(～翌年7月26号)</p>  <p>【原田康子】</p>  <p>【市立図書館での北海文学同人合評会】 左から3人目が原田康子、右から2人目が鳥居省三</p> <p>・ 北海道立阿寒湖診療所が開設される。</p>	<p>1 ロンドンで日ソ国交正常化交渉開始</p> <p>7 関税及び貿易に関する一般協定(GATT)への日本加盟調印(9.10発効)</p> <p>23 全国軍事基地反対連絡会議結成(砂川・北富士・内灘等で反基地・反戦闘争激化)</p>

<p>7 17 信浄寺が松浦町に説教所として開設される。</p>	<p>27 共産党6全協、武装闘争路線を廃棄</p>
<p>8 .. 第1回くしろ北海盆踊り大会が開催される。        .. 釧路市民合唱団が結成される。        .. 阿寒村公民館が雄鉄阿寒駅前旧病院を転用して移転する。</p>	<p>6 第1回原水爆禁止世界大会広島大会開催        10 石炭鉱業合理化臨時措置法公布        .. 森永粉ミルクで乳児死亡(12月迄に113人)</p>
<p>9 .. 舌辛川上流に村井建設が大曲炭砒を開坑する。</p>	
<p>10 1 日本詩吟学院岳風会釧路支部が発足する。        28 市文化祭が市総合文化祭と改称して開催される。</p>	<p>1 第8回国勢調査、道人口4,773,087人        13 左・右社会党統一大会</p>
<p>11 3 釧路市文化賞の第1回授与式が行なわれる。        19 雌阿寒岳が有史以来初の噴火。        (ポンマチネシリの火口で水蒸気爆発があり、東28°。先まで降灰を観測する)</p> <div data-bbox="625 551 1007 1055" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">【雌阿寒岳噴火】        昭和30年11月19日16時50分頃</p> <p>.. 道展の第1回釧路移動展が公民館で開催される。</p>	<p>1 赤平の茂尻炭砒でガス爆発、60人死亡        15 自由・日本民主両党、自由民主党結成        16 拓銀、都市銀行へ加入</p>
<p>12 11 『釧路新聞』(第3次)が創刊される。</p> <div data-bbox="256 1160 920 1527" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">【昭和30年代の釧路新聞社々屋(白金町)】</p> <p>.. 舌辛川の富士見橋が架け替えられ、永久橋となる。        .. 阿寒市街の簡易上水道敷設工事が竣工する。        .. 択捉島沖で釧路の底曳大型船が周年操業体制に入る。</p>	<p>14 日本の国連加盟にソ連が拒否権行使        19 原子力基本法・原子力委員会設置法公布</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>.. 釧路管内の乳牛数が5千頭、産乳量が10万石を超える。</p>	<p>.. 下期から「神武景気」到来(～32年上期)        .. 電気釜新発売、テレビ・洗濯機等による「家庭電化時代」開始        .. 全国で同盟罷業638件・1,028,629人参加</p>

## 昭和31年(1956)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	<p>13 釧路優良商店会が設立される。(昭和61年、釧路日商連となる)</p> <p>29 末広4丁目から出火し、歓楽街の6棟21戸が焼失、1人が焼死する。</p>	15 総評春闘、第1波官・民統一闘争実施
3	<p>12 第1回阿寒スピードスケート競技大会が開催される。</p> <p>29 釧路専門店会と釧路商店会が合併し、(協)釧路専門店会となる。</p>	21 ソ連、北洋鮭鱒資源保護の為、ブルガーニン・ライン設定
4	<p>2 釧路機船底曳網漁協が釧路機船漁協と改称する。</p> <p>10 釧路歌人会が創立される。</p> <p>11 釧路書道連盟が結成される。</p> <p>29 欧米との直輸出入航路再開第1船「赤城山丸」が出港する。</p>	<p>14 積雪寒冷地域における道路交通の確保に関する特別措置法(積寒法)公布</p> <p>21 「水俣病」患者、初めて確認</p>
5	<p>・ 集乳工場の設置場所を巡る阿寒村内3農協の対立が始まる。</p>	14 日ソ漁業条約調印
6	<p>25 音別村立尺別炭砒幼稚園が尺別炭砒小敷地内で開園する。</p> <p>29 寿町で火災出動中の消防車が児童の列に突入し、7人が死亡、12人が重軽傷を負う。</p>	30 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(教育委員の任命制等)公布
7	<p>18 「釧路まりも学園」の落成式が挙行される。</p> <p>・ 日本化学飼料(株)釧路工場が大楽毛で操業を開始する。</p> <p>・ 露天転換の駅前市場(和商協同組合)と黒金市場が開業する。</p>	<p>1 北海道開発公庫発足</p> <p>8 参議選、自民61・社会49・緑風5・創価3</p>
9	<p>10 雄別炭礦鉄道の全面出資で(株)釧路製作所が設立される。</p> <p>・ 舌辛川支流ペルシナイ川に、村井建設が然別炭砒を開坑する。</p> <p>・ 太平洋炭砒が武佐に選炭汚水浄化用沈澱池を設置する。</p>	<p>8 全国中立労組連絡会議(中立労連)結成</p> <p>28 文部省、初の全国学力調査</p>
10	<p>8 HBC釧路放送局が開局し、民放初のラジオ放送を始める。</p> <p>24 前年の釧路市総合文化祭と釧路地区労働文化祭が統合し、第1回釧路文化祭が開催される。(～11/4)</p>	19 日ソ国交回復に関する共同宣言調印
11	<p>20 同人詩誌『かばりあ』が創刊される。(創刊号のみ『かばりや』)</p> <p>25 阿寒湖小・中学校の新校舎(マリモ校舎)落成式が行なわれる。</p>	<p>4 ソ連軍ブダペスト侵攻(ハンガリー動乱)</p> <p>5 英仏軍スエズ運河占領(10.29～イスラエル軍シナイ半島占領、第2次中東戦争)</p>
	 <p>【マリモにちなんだ円形の阿寒湖小学校】昭和48年に中学が独立新校舎へ移転、54年に小学校も移転してマリモ幼稚園園舎となる。</p>	
12	<p>10 原田康子著『挽歌』の単行本が東都書房から刊行される。</p> <p>28 『釧路歌人会誌』(年刊)が創刊される。</p> <p>・ 富士見坂の拡幅工事が完成する。(6月に幣舞ロータリー造成)</p>	<p>18 国連総会、日本の国連加盟承認</p> <p>22 NHK札幌局、テレビ放送開始</p> <p>23 石橋湛山内閣成立</p>
(この年)		(この年)
	<p>・ サンマが大豊漁で釧路港の水揚量が1,500万貫となる。</p> <p>・ 釧路港の移・輸出入貨物量が開港以来初めて200万トンを超える。</p>	<p>・ 全道大冷害凶作、被害総額397億円</p> <p>・ 鉱工業生産指数219.1・製造工業同231.3</p> <p>・ 全国で同盟罷業631件・954,177人参加</p>

## 昭和32年(1957)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	1 阿寒村に町制が施行され、村長の小村義馬が初代町長となる。	29 日本南極観測隊、昭和基地設営
2	28 原田康子が『挽歌』で女流文学賞を受賞する。	25 岸信介内閣成立
3	1 全日本スピードスケート選手権大会(第25回)が、初めて阿寒湖で開催される。(～3日)	13 共同通信、「菅生事件」の真相報道 15 HBC、道内初の民放テレビ放送開始
4	1 釧路国支庁が釧路支庁と改称される。 10 釧路北陽高等学校が大町の旧電話局を仮校舎として開校する。 11 市水産物協組が設立され、市内水産工場の大楽毛移転を決める。 .. 釧路サッカー協会が創立される。 .. 北海道バター釧路・音別工場が、クロバー乳業各工場と改称する。	6 開拓営農振興臨時措置法公布
5	30 音別炭砒が栄和産業(株)上音別炭砒となる。	
6	.. 釧路鮭商組合が設立される。(後に釧路鮭調理師会が分離独立) .. 映画『挽歌』のロケが市内を中心に行われる。  【『挽歌』映画ポスター】 一躍ベストセラーとなった『挽歌』はこの昭和32年久我美子主演映画の後、昭和51年秋吉久美子主演で再度映画化されている。	21 岸・アイゼンハワー、日米共同声明(日米安保委設置・在日米地上軍撤退等)
8	1 雄鉄が旅客専用ディーゼルカーの運行を開始する。 26 釧路ライオンズクラブが創立される。 .. 遍照寺の寺号公称が許可される。	6 日米安保委員会設置 27 東海村原子力研究所の1号炉が臨界点に達し、原子力の火が点る
9	14 阿寒町開基70周年及び町政施行記念式典が挙行される。 15 阿寒町西高台に殉公碑が建立され、慰霊祭典が行われる。 15 渡辺茂編『釧路市史』を市が発刊する。 .. 市立病院附属准看護婦養成所が開設される。	5 国鉄白糠線着工 20 初の国産ロケット・カップパーC型打上げ
10	19 釧路国相撲協会が相撲錬成場を建て、土俵開きが行なわれる。 27 市長・市議(36名)選挙が行われ、山本武雄が市長に初当選する。	
11	3 音別村公民館が新築され、落成式が挙行される。 18 市議会議長に山崎鉄三郎が四選される。	1 日本原子力発電(株)設立
12	15 釧路電報局が黒金町の電話局隣に新築・移転する。 26 布伏内郵便局が開設される。	6 日ソ通商条約調印 27 閣議、道総合開発第2次5ヶ年計画決定
(この年)		(この年)
	.. 管内農家家畜数調査で、鶏が前年比43%増の55,369羽・牛が同23%増の14,111頭等に増えるが、馬のみ同13%減の15,471頭に減る。 .. 釧路港からの木材移出積出しが初めて百万石を超える。	.. 道内交通事故、初の5千台(5,125件) .. 経済成長率、実質9.9%・名目15.1% .. 全国で同盟罷業810件・1,554,968人参加






## 昭和33年(1958)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>21 湖陵高校が釧路勢初のアイスホッケー全国優勝を果たす。</p> <p>27 売春防止法施行(4/1)が迫り、米町遊廓の解散式が行われる。</p>	<p>22 第2回日ソ漁業交渉、鮭鱒11万トンを妥結</p>
2	<p>27 信浄寺の寺号公称が許可される。</p>	<p>5 非外資系のアラビア石油㈱設立</p>
3	<p>1 札幌鉄道郵便局釧路郵便室が分局に昇格する。</p>	<p>9 関門国道トンネル(3,461m)開通</p> <p>24 全日本農民組合連合会結成</p>
4	<p>27 三代目鳥取橋が永久橋として竣工し、渡橋式が行なわれる。</p> <p>.. エンパイアクリーニングが本社を札幌に移す。</p> <p>.. 同人詩誌『釧路現代詩話会』が創刊される。</p>	<p>1 北海道総合開発第2次5ヶ年計画実施</p> <p>26 日本貿易振興会法公布(7.25.JETRO設立)</p>
5	<p>28 釧路北ロータリークラブが創立される。</p>	<p>22 総選挙、自民287・社会166</p>
6	<p>1 釧路文学団体協議会が発足する。</p> <p>10 音別村社会福祉協議会が結成される。</p> <p>22 阿寒町長・町議補欠(3名)選挙が行われ、太田佐市が初当選する。 (異議が出されて無効となり、12月に再選挙となる)</p> <p>27 皇太子殿下が阿寒湖畔 (～29日)・釧路(～30日) をご来訪される。</p>  <p>【錦町魚揚場を見学される皇太子殿下】</p>	<p>12 第2次岸信介内閣成立</p> <p>23 皇太子殿下ご来道(～7.10)</p> <p>24 阿蘇山大爆発、死者12人</p>
7	<p>1 釧路市公民館が新築され、オープンする。</p>  <p>【釧路の文化・芸術・社会教育の拠点となった公民館】</p> <p>2 釧路港南新埠頭が着工される。(3日、中央埠頭着工)</p> <p>31 本州製紙(株)釧路工場建設工事の鍬入れ式が行なわれる。</p>	<p>5 北海道大博覧会開催(～8.31札幌・小樽)</p> <p>18 王子製紙労組、無期限スト突入(王子争議)</p>
8	<p>27 丹頂鶴自然公園が開園し、5羽のタンチョウが公開される。</p>  <p>【開園間もない丹頂鶴自然公園】</p> <p>22 虞犯少年の収容施設「釧路学園」が緑ヶ岡に開園する。</p>	<p>23 青函トンネルの海底ボーリング調査開始</p> <p>25 日清食品、初の即席麺「チキンラーメン」発売開始</p>



## 昭和34年(1959)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>1 音別村に町制が施行され、村長の紅林鉄雄が初代町長となる。</p> <p>9 国体スケート(第14回)道予選会が釧路で初めて開催される。</p> <p>18 音別中屋体で町制施行記念式典が挙行される。</p> <p>21 音別村主畜農業協同組合が、音別町農業協同組合と改称する。</p> <p>23 朝陽小学校が開校する。</p> <p>28 音別地区労(7単産・1,063人)が発足する。</p>	<p>1 計量(メートル)法施行</p> <p>10 NHK教育テレビ開局</p> <p>14 昭和基地に放置の太郎・次郎、生存確認</p>
2	<p>3 釧路市総合企画委員会(6部会・135人)が発足する。</p> <p>25 工業高校の校舎約半分が焼失する。</p> <p>【炎上する工業高校校舎】 翌年10月に焼失分が復旧され、昭和38～44年度に全面改築された。</p>  <p>28 阿寒地区労(9単産・3千人)が発足する。</p>	<p>18 藤山外相、安保改定試案を発表</p>
3	<p>4 阿寒地方中小企業相談所が設立される。</p> <p>6 青空(せいこう)画会が釧路美術協会に改組・改称する。 .. 劇団「虹の会」が結成される。(7.12.第1回公演) .. 市教育研究所が郷土読本『くしろ』(小3・4年副読本)を発刊する。</p>	<p>28 安保条約改定阻止国民会議結成</p>
4	<p>5 釧路ステーションデパート協同組合が設立される。</p> <p>23 道議選で、市部は阿部英一・太田益夫、管内は竹内重雄・二瓶栄吾・千葉軍司が当選する。</p> <p>30 阿寒町(定員26名)・音別町(同22名)議会議員選挙が行われる。</p> <p>30 音別町長選挙が行われ、千葉豊治が初当選する。 .. 太平洋炭砒の選炭工場が拡張され、処理能力180万トン/年となる。</p>	<p>10 皇太子・美智子后、御成婚パレード</p> <p>15 最低賃金法公布</p> <p>16 国民年金法公布</p> <p>23 道知事・道議選、知事に町村金五初当選</p>
5	<p>1 釧路一川湯間準急「摩周」が通年運行を開始する。</p> <p>3 鳥取町主畜農業協同組合が釧路市農業協同組合と改称する。</p> <p>24 第1回「サクラまつり」が鶴ヶ岱公園で開催される。</p> <p>31 第1回たそがれ野球大会が始められる。(60チーム参加)</p>	<p>13 第3回日ソ漁業交渉、鮭鱒8万5千トンで妥結</p>
6	<p>20 釧路電話局の天気予報サービス(ダイヤル99)が始まる。</p> <p>25 浄土寺の寺号公称が許可される。</p> <p>28 第13回全道工場鉱山相撲大会が十條製紙相撲場で開催される。</p>	<p>2 参議選、自民71・社会38・学会系6</p> <p>30 沖縄県宮森小学校に米軍ジェット機墜落、死者21人・負傷者100人</p>
7	<p>12 第1回釧路地方軽自動二輪車耐久競技大会が行われる。</p> <p>17 釧路市青少年補導センターが発足する。(栄町児童館に仮設)</p>	
8	<p>1 釧路市開基90年記念式典挙行、「釧路市の歌」が制定される。</p> <p>9 第11回全道都市対抗柔道大会が旭小屋体で開催される。</p> <p>15 音別町第1回町民大運動会が音別小グラウンドで開催される。</p> <p>20 日本山妙法寺の仏舍利塔が城山に完成し、落成式典が行われる。</p>	

9	<p>1 雄別炭礦鉄道(株)が鉄道部門を分離し、雄別鉄道(株)を設立する。</p> <p>1 副港市設魚揚場の右翼棟が竣工し、全面使用開始される。</p> <p>4 釧路ガス(株)が庶路炭鉱の坑内ガスを本州社宅へ供給し始める。</p> <p>19 国体バレーボール道予選大会が初めて釧路市で開催される。</p> <p>22 釧路一根室間に準急「ノサップ」が運転開始される。</p> <p>24 市内で初めての老人クラブ「モシリヤ会」が城山で結成される。</p> <p>.. 北電が宇田別変電所の運転を開始する。</p>	<p>11 国泰寺『日鑑記』、道の有形文化財に指定</p> <p>26 台風15号(伊勢湾台風)、列島縦断、死者・行方不明<b>5,098</b>人(道内<b>34</b>人)</p>
10	<p>7 本州製紙が我が国初のクラフトライナー工場を完成し、竣工式が行われる。</p>  <p>【本州製紙釧路工場】 昭和<b>49</b>年の第<b>4</b>期増設工事完了時には生産能力<b>71万</b>となり、東洋一の製紙工場と言われた。</p> <p>16 釧路開発建設部阿寒湖畔出張所が開所する。</p> <p>26 国鉄釧路客貨車区が浜釧路駅から宝町に移転・新築される。</p> <p>27 音別町第<b>1</b>回総合文化祭が開催される。(～<b>11</b>月<b>3</b>日)</p> <p>28 釧路市私立高校誘致期成会が発足する。</p> <p>.. 釧路勤労者音楽協議会(労音)が発足する。</p>	<p>25 社会党西尾派<b>33</b>議員離党</p> <p>31 文部省、初の教育白書発表</p>
11	<p>.. 釧路で初めての跨線橋が国道<b>38</b>号線の本州製紙前に完成する。</p>	<p>27 安保阻止第<b>8</b>次統一行動、デモ隊<b>2</b>万人が国会構内に突入、<b>300</b>人が負傷</p>
12	<p>1 釧路赤十字病院が浦見町から新栄町に移転・新築され開院する。</p> <p>1 立正校成会釧路支部(<b>44</b>年に釧路教会)が発足する。</p> <p>1 愛国浄水場が完成し、給水を開始する。</p> <p>12 音別町に衛生組合、防犯協会(<b>15</b>日)が設立される。</p> <p>16 釧路一帯広間に電々公社のマイクロ回線が開設される。</p> <p>19 江南高校の鉄筋新校舎が光陽町に完成し移転する。</p>  <p>【江南高校新校舎】</p> <p>28 NHK釧路放送局がテレビ本放送を開始する。</p>	<p>11 三井三池炭鉱、<b>1,177</b>名の指名解雇通告(三池争議始まる)</p> <p>14 北朝鮮への帰還第<b>1</b>船、新潟出港</p> <p>18 炭鉱離職者臨時措置法公布</p>
(この年)		(この年)
	<p>.. 南埠頭造成の為、知人の<b>7</b>造船所が浜町へ移転する。</p>	<p>.. 前年より「岩戸景気」、年末日銀券発行残高<b>1兆294</b>億円、成長率実質<b>10.4%</b>・名目<b>14.2%</b></p> <p>.. 全国で同盟罷業<b>872</b>件・<b>1,213,593</b>人参加</p>